

# 大念佛

No.89

発行/融通念佛宗  
総本山 大念佛寺  
大阪市平野区平野上町1-7-26  
TEL.06-6791-0026

題字：融通念佛宗 管長 吉村暲英



過去に感謝を  
現在に喜びを  
未来に夢を

融通念佛宗管長  
吉村暲英

令和三年の年頭に当たり、檀信徒各位のご健勝とご多幸を、謹んで仏祖のご宝前に祈念申し上げます。思えば、昨年は新型コロナウイルス禍の中にあって、日常生活が一変し、予期せぬ苦難の年でした。加えて気候変動による災害も多発しました。本年は人間の叡知（英知）によって、感染症が収束することを願うと共に、地球環境が脅かされる中、私たち一人ひとりが各自の役割について真剣に考え行動しなければならぬと思います。

お経の中に「法門無尽誓願知」

（仏さまの御教えは尽きることのない膨大なものである。誓ってこれを学び知ろう。）という御文があります。まさに仏の教えは過去、

現在、未来の三世にわたって、永遠に私たちに語りかけてくださっています。正月には年頭の挨拶で自然と三世の思いがこめられています。「明けましておめでとうござい

ます。」（現在）「旧年中はお世話になり、ありがとうございます。」（過去）「本年もどうぞ

よろしくお願ひします。」（未来）  
ここで注目すべきは旧年（過去）

への感謝です。過去に執着してはいけません。今が大事だとよくいわれます。しかし、今が大事と思えるのは過去への感謝があつてのことです。過去は呼び戻すこととはできないが、常にわが身を振り返り、そこからの学びがよりよい現在と未来に繋がっていくのです。そのことを教えてくれたのは、デザイナーのコシノジュンコさんでした。コシノさんは「過去を尊敬して生きる」と表現しておられました。

“尊敬”は格調高い響きを持っています。思わず衿を正し、合掌せずにいられない気持ちです。大切な先祖供養もここに根差しているのです。

過去は喜び楽しみの思い出にもまして、失敗や挫折、後悔の念など、様々な人生の悲哀を呼び起こすこととでしょう。しかしそれがよき試練として人間性の成長に役立つことを知るべきです。

“人の世の悲しみに泣いたおかげで 人の世の楽しみに心から笑える”

こんな詩の一節を思い出しました。この一年、心から笑える日々を過ごしたいものです。



# 「融とは和合の義、通とは隔てなき義なり」

これは、融通念佛宗の詮海和上が著書『融通念佛安心』のなかで述べられた言葉です。

この度、下永正念寺川中恒明師がその『融通念佛安心』を文釈し解説書を刊行されました。その主なところを檀信徒の皆様にも知っていただくために、川中師に伺うこととしました。

(聞き手 橋本悦雄)

橋本 詮海和上とはどのような方だったのでしょうか。

川中

江戸時代後期天明六年（一七八六）に誕生され、八歳で出家し、大和郡山市、稗田、常楽寺に住持となられました。その後、宗派を超えて師を求め学び、研鑽を深めてついに、本山の正宗の学事すべてつかさどる役目の学頭職に就きました。学頭職にあること二十四年、正宗の根本教義である円門章を講義すること十八回、教法の法を聴聞し、戒法を受けたもの数知れず、著作も数多くのこされ、楽山上人、明意上人など後に名を

詮海和上 述

## 融通念佛安心



表紙題字 岩松寺 川中宣明 師筆

ただればと刊行した次第です。

橋本 「融通念佛安心」そのものは字数にすると僅か千字足らずです。その中にいくつかの重要な言葉が述べられています。なかでも「融とは和合の義、通とは隔てなき義なり」は融通念佛の本質だと思えます。

川中

融とは和合、通とは隔てなき・・・まさにこれは、永遠のテーマであるようにどの様な時代、世相にも通じる教えの様に思います。その時代や世相によっていろいろな隔りがあります。江戸初期より、丙午の年は火災が多く、この年に生まれた女性は気性が荒く、夫を早死にさせるといふ迷信がありました。

現に昭和四十一年（一九六六）の丙午の年は出生率が二十五パーセント減少しています。今もその迷信はあるようです。詮海和上は、何の根拠もない迷信をなげき、自ら易学を学び、「丙午歳生まれのおしえ書き」を皆に配って、迷信を正されました。

その年に生まれた赤ちゃんを持つ母親や丙午歳生まれの女性は、どんな思いで読んだことか・・・長年の苦しみ悩みから歓喜の思いに心が蘇ったことか。

詮海和上は、この様に隔てによって悩み苦しむ、か弱き人の思いを吾が心として、自ら丙午の迷信を正そうとされました。その思いこそが、融通の心、和合、隔てなき義を示している様に思います。できるだけ周りや相手の気持ち、



丙午歳生れのおしえ書き(王寺岩松寺蔵)

べし」と先祖代々受け継がれている様です。自分だけでなく周りの人へと施し供養し提供するの思いこそ、融通念佛の和合が生きている様に思

その人の立場に立つことによって、隔たりは和らいでくるように思います。

橋本

また、「其の申す處の念佛を捨て、法界の同行衆に施すべし」という言葉があります。文釈には「その称えるお念佛、その憶いは己が為と云う気持ちや思いを捨てて普く念佛同行の方々の幸せ、幸福、ご利益、福德の為にと思つて広く施して行きなさい（利他の為）」とありました。

川中

正宗の布教教宣の第一は、ご回在の布教だと思つています。昔より、鉢をうち鳴らし、ご本尊と共に、お念仏を勧める姿を通じて、如来さん、上人さんと村々の行事として宗派を超えて親しまれてきました。今も村々にはお食事の供養を提供して下さるお宅があります。

あるお宅では、昔よりお昼のお食事を「ご供養くださり、お回りをされている僧侶やご案内される村の禅門講員など、人数にすれば三十―四十名程の人にお食事を供養し提供されておられます。

そのお宅では昔より、「如来さんにはたとえ家族の食べ物が無くとも、如来さんの時は皆に供養す

身近なところに、気づかないところに、その隔てない中に私たちがいかされているのではないのでしょうか。

だからこそ、詮海和上は「あまねく法界の為と思つて・・・」と述べられ、それが吾が身、自分自身の徳や恵になっていくのであると云われた様におもいました。

橋本

「あとがき」には善光寺をはじめ多くの名利、そして著名な僧侶が融通念佛に深く関わり、そして全国に広めたことが書かれてありました。融通念佛は正宗派ではなく民衆の生活の中に溶け込んでいったことがわかります。

川中

昔から全国の村々には宗派を超えて数珠練りや念仏講などが、伝わっています。段々とその姿を消しているのを、誠に寂しく残念に思っています。

お念仏の音が聞こえないこと、不安さを感じます。人間一人は、か弱い生き物です。だからこそ寄り添い助け合い励まし合つて生きて行く中に、仏さまのお心が沸き上がってくる様に思います。みんなで仲良くお念仏を称えられる様

な世の中になってほしいです。

橋本 文釈された中に「幸いに、融通の妙なる教えがある。家にもちいて家族が皆おだやかにまとまつてくる。国にもちいたなら国がやすらかに治まる。よのなを導いて行ふべきは、ただ融通の妙なる教えである。」とありました。

近年、周りを眺めてみると、「人種差別」や「民族差別」最近では「コロナ差別」など自分とは異なるものを許容できない人も少なくないようです。

また、大きくは国際社会、小さくは私たち個々の社会でも、「自国第一主義」とか「自己ファースト」などという考え方が広まっているように思います。他を思う気持ちが薄れ、逆に壁を築こうとしています。それは和合とは全く反対の立場です。

このような世相こそ、隔てのない「融通」の言葉が意味を持つのではないのでしょうか。

川中師にはお忙しい時間を割いていただきありがとうございます。



裏表紙 詮海和上 筆



# なら国際映画祭に参加出演



## なら国際映画祭二〇二〇 オープニングイベント

融通聲明研究会

令和二年九月十八日、二十二日で開催されました『なら国際映画祭二〇二〇』のオープニングイベントに出演致しました。この映画祭は映画上映や制作等に関わる活動を通して、奈良を世界に発信し、新しい文化を創造するとともに、県内の観光振興及び経済活性化に寄与すると同時に、世界の映画人を来寧させることで、日本の新人監督の育成及び、多国間での国際交流の場としての役割を果たすことを目的に開催されています。

オープニングイベントは東大寺大仏殿と春日野園地特設野外ステージで行われました。

私たちは今回、十六歳にしてDJ世界チャンピオンのDJ Renaさんと共演致しました。DJとはディスクジョッキーの略称で、既存の音楽を再生機器で音を出す、またはそれを選曲、操作、指示する人物とされています。

映画祭エグゼクティブディレクターの河瀬直美監督から依頼があった時は正直不安でした。過去に日本の伝統楽器や西洋音

も感動的でした。おかげさまで、素晴らしいこの世に二つと無い空間が誕生しました。

この時の声明「往生礼讃」は、生まれることを礼を持って讃えるという意味だと考えました。一三〇〇年の歴史の延長線上に今の私たちが在るということに深く感謝したひと時となりました。



楽との共演はありましたが若者が好む現代音楽と声明の融合がどういう形に成りえるのか想像も出来なかつたからです。限られた時間の中ではありましたが何度かリハールを重ね、本番では迎実優さんのダンス、映画『おおかみこどもの雨と雪』『未来のミライ』などを手がけた映像作家の高木正勝さんの作品もステージの大型スクリーンに映し出され、DJ Renaさんの演奏と融通聲明が駆け合わせり新しいものが生み出された素晴らしい舞台になりました。声明が流れる中で、ライトアップされた大仏殿や、春日野園地周辺が最新のドローンなどで撮影された映像は、全世界にライブ配信されました。現在も映像はYouTubeなら国際映画祭チャンネルまたはYouTube 融通聲明研究会公式チャンネルでご覧になれます。

恒例の五月の万部法要や百万遍数珠繰り法要を、従来より縮小して営みましたが、それ以降の諸行事に付きましても、引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため縮小、延期、中止などの種々対策を取らなくてはならない状況が続いてまいりました。

融通念佛宗にとりましてとりわけ重要な行事であります御回在は、四月の緊急事態宣言以降の河内御回在・近郷回在と同じように、大和御回在につきましてもやはり縮小の形をとっての執行となりました。九月三日の御出光のあと、実際の御回りは控えて在所に出かけることはないのですが、毎日午後三時より本山白雲閣においてご本尊御開帳のもと、十二月十九日御帰院の日まで山内職員による法要勤修となりました。各在所においては、住職による檀信徒さんへの種々の説明と働きかけのおかげで、例年にも増して重要なお世話を頂きながらの御回在となりました。



胎内仏法要動画配信の様子

毎月のご定例事業も夏に引き続き、コロナ禍の中で縮小や中止の対応を行わざるを得ない状況にありました。吉村猊下直々に講義を頂く仏教講座、布教師の方々による定例布教の二事業は、三密状態の危険もあって中止とされましたが、注意と工夫を行うことで可能と判断されるお写経と毘沙門堂護摩供養は昨年九月より再開しております。お写経護摩供養ともに参加者や参加者は戻って来て下さり往時の風景が一定戻っています。今後とも可能な事業は工夫と注意を払いつつも、各種事業再開を図って参る所存です。

## コロナ禍の中に於ける 総本山の法要







大念寺は、正和三年（一二三四）閏三月、願阿上人の開基で、はじめは鶯関寺と呼ばれてきたが、のちに大念寺となり院号

は交通量が多く、堀溝の南側には、「くさか江」と呼ばれる大きな湖沼があったので、人々は北側にあたる堀溝を通り、また、宿場もあり、かなりのにぎわいがあったとのことです。そこで財源を求めた寺社や領主が、関所を設けて通行人から「関銭」を徴収しました。この関の正確な場所は確定できません。このあたりは竹林が生い茂り、春になると鶯の鳴く声がよく聞こえるため、「鶯の関」と呼ばれていたそうです。

大念寺は、正和三年（一二三四）閏三月、願阿上人の開基で、はじめは鶯関寺と呼ばれてきたが、のちに大念寺となり院号は交通量が多く、堀溝の南側には、「くさか江」と呼ばれる大きな湖沼があったので、人々は北側にあたる堀溝を通り、また、宿場もあり、かなりのにぎわいがあったとのことです。そこで財源を求めた寺社や領主が、関所を設けて通行人から「関銭」を徴収しました。この関の正確な場所は確定できません。このあたりは竹林が生い茂り、春になると鶯の鳴く声がよく聞こえるため、「鶯の関」と呼ばれていたそうです。

大念寺は、正和三年（一二三四）閏三月、願阿上人の開基で、はじめは鶯関寺と呼ばれてきたが、のちに大念寺となり院号は交通量が多く、堀溝の南側には、「くさか江」と呼ばれる大きな湖沼があったので、人々は北側にあたる堀溝を通り、また、宿場もあり、かなりのにぎわいがあったとのことです。そこで財源を求めた寺社や領主が、関所を設けて通行人から「関銭」を徴収しました。この関の正確な場所は確定できません。このあたりは竹林が生い茂り、春になると鶯の鳴く声がよく聞こえるため、「鶯の関」と呼ばれていたそうです。

大念寺は、正和三年（一二三四）閏三月、願阿上人の開基で、はじめは鶯関寺と呼ばれてきたが、のちに大念寺となり院号は交通量が多く、堀溝の南側には、「くさか江」と呼ばれる大きな湖沼があったので、人々は北側にあたる堀溝を通り、また、宿場もあり、かなりのにぎわいがあったとのことです。そこで財源を求めた寺社や領主が、関所を設けて通行人から「関銭」を徴収しました。この関の正確な場所は確定できません。このあたりは竹林が生い茂り、春になると鶯の鳴く声がよく聞こえるため、「鶯の関」と呼ばれていたそうです。

大念寺は、正和三年（一二三四）閏三月、願阿上人の開基で、はじめは鶯関寺と呼ばれてきたが、のちに大念寺となり院号は交通量が多く、堀溝の南側には、「くさか江」と呼ばれる大きな湖沼があったので、人々は北側にあたる堀溝を通り、また、宿場もあり、かなりのにぎわいがあったとのことです。そこで財源を求めた寺社や領主が、関所を設けて通行人から「関銭」を徴収しました。この関の正確な場所は確定できません。このあたりは竹林が生い茂り、春になると鶯の鳴く声がよく聞こえるため、「鶯の関」と呼ばれていたそうです。

# 末寺巡礼 鶯関院 一心山大念寺

※河内西国第三十三番 寝屋川市堀溝二一九一四

歴史：この地は奈良時代の僧侶が庶民のために様々な土木事業を行いました。今日の国道一六三号線の前身である清滝街道も、河内・撰津・大和と、交通の便を図るために作った道で「行基みち」と呼ばれていました。この道は、守口市から門真市に入り、堀溝を経て四條畷市から奈良県へ入り大峰山へと通じています。生駒山を越える道は、清滝峠や、暗峠など十本以上ありましたが、中でも清滝峠は交通量が多く、堀溝の南側には、「くさか江」と呼ばれる大きな湖沼があったので、人々は北側にあたる堀溝を通り、また、宿場もあり、かなりのにぎわいがあったとのことです。そこで財源を求めた寺社や領主が、関所を設けて通行人から「関銭」を徴収しました。この関の正確な場所は確定できません。このあたりは竹林が生い茂り、春になると鶯の鳴く声がよく聞こえるため、「鶯の関」と呼ばれていたそうです。

時代は経過し、明治の学制発布と同時に堀溝大念寺に郷学校が設けられました。司馬遼太郎の『坂の上の雲』に出てくる秋山兄弟の兄の好古氏が若い頃、代用教員として日々おくられたとの記録があります。当寺最古の仏像は十一面観音菩薩で平安時代後期の作です。現在も河内西国三十三所観世音菩薩巡りに巡礼者が来られます。



※北河内方面の河内西国

## 「年間行事」

- ・一月中旬に無病息災法要と大根炊き
- ・毎月の月初め月曜日、女性を中心にして務奉仕。本堂のお掃除、その後、本堂でお勤め、一月は、ぜんざいの茶話会
- ・春・秋の彼岸法要、終了後、春はお話（布教）、秋は音楽（コンサート）芸能など
- ・施餓鬼法要
- ・合同初盆法要
- ・地藏盆での夜店
- ・十夜法要 お話（布教）終了後小豆粥の接待等

年末の除夜の鐘は、地域・宗派を問わず、たくさんのお参りがあり、無料で年越しそばの接待をさせて頂いています。

飲食を伴う行事は、食中毒の問題・新型コロナウイルスの問題等で、今後の活動見直しは、避けられないと考えています。

お問い合わせ 大念寺 〇七二一八二二一六三三

## 大念佛寺年中行事

（二月～七月）について

「新型コロナウイルス」感染拡大の状況を鑑み諸行事に関して山内限りの法要、または中止とさせて頂いた可能性がります。

つきましては、「大念佛寺ホームページ」にて随時公表いたしますので、お手数をおかけいたしますがご確認いただきますようお願い致します。

ご不明な折は下記のお問い合わせまでご連絡ください。

## 小 径

新型コロナウイルスの拡大に伴い、「密」になることを避け、遠方への移動を自粛したりするなど、新しい生活様式に変化する中、その余波は仏事にも及んでいます。令和二年度の胎内仏法要はリモートで法要が執り行われました。

私の自坊でも年忌法要をお寺で執り行った際、県外の家族から、「県を越えての移動ははばかられるので、リモートでできますか」との要望があり、本堂内でネット法要の様子を中継して喜

んでいただけました。また施設に入っている家族の方でもリモート法要なら参加できると施設の介護職員さんの助けで画面越しですが法要に参加していただけました。仏教には「諸行無常」という教えがあり、「世界のあらゆる物事は常に変化し続けるもので永遠ということはない」という真理があります。私たちの生活もコロナ禍で流転していきませんがその中にも必ず喜びもあると思います。早くコロナが終息するように祈ります。

光雲

## 話せば心も軽くなる

大阪仏教テレホン相談室

仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。月曜日～金曜日（八月休）

でんわ 〇六（六二四五）五一〇

午後二時～五時迄

## 年中行事のご案内

### 修正会

〇一月一日（金・祝） ■午前五時  
国家安泰・五穀豊穡・万民豊樂を祈願して法要が修されます。

### 融通念仏会

〇一月十六日（土） ■午前十二時  
ご一緒にお念仏を称えましょう。

### 百万遍会（大数珠くり）

■午後一時  
外陣いっぱい張りめぐらされた数珠を、お念仏の声もろともに繰ります。身体堅固のお加持が受けられます。

### 寒行

〇二月三日（水） ■午前九時三十分  
本山僧侶が平野の町を鉦を打ち鳴らしながら托鉢します。

### 毘沙門天護摩供養

■午前十時  
■午後二時

### 大般若転読

■午後二時

### 元祖忌法要

〇二月二十六日（金） ■午後一時

### 河内御回在御出光

〇三月三日（水） ■午前七時

### 再興忌法要

〇三月五日（金） ■午後一時

### 写経奉納供養・筆供養

〇三月三十日（水） ■午後一時三十分

### 万部法要

〇五月一日（土）～五日（水・祝）

### 融通念仏会

〇五月十六日（日） ■午前十一時

### 百万遍会（大数珠くり）

■午後一時

### 東照大権現忌

〇五月二十二日（土）

河内御回在御帰院  
〇五月二十九日（土） ■午後三時頃  
保管霊骨追善法要  
〇六月十二日（土）、十三日（日） ■午後二時

### 中祖忌法要

〇七月七日（水） ■午後一時

### 鳥羽上皇忌

〇七月二十日（火）

### 大念佛寺仏教講座

●毎月第二水曜日  
■午後二時～四時三十分

### 定例布教（日曜日の時は二十七）

●毎月二十六日 ■午後一時三十分

### ★写経のご案内

毎月二十六日、午前九時三十分より午後三時まで、白雲閣にて写経（巻千円）を行っております。

### ★納骨のご案内

午前九時三十分より午後四時まで年中無休で宗派は問わず納骨を受け付けています。尚、納骨の際は、事前にお問い合わせ下さい。

●日程については、変更になる時もございます。

●お問い合わせ

### 大念佛寺宗務所

☎〇六―六七九一―〇〇二六

融通念仏宗総本山 大念佛寺	
法主	吉村 暉英
管長	田中 瑞修
宗務総長	吉井 良久
教学部長	好野 良博
庶務部長	佐々木智祥
財務部長	

## 謹賀新年

「新型コロナウイルス感染症」の一刻も早い終息と皆様の暮らしが平穏へ向かうよう総本山より祈りを捧げます。

融通念佛宗 総本山 大念佛寺